

# 2018年度事業報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

特定非営利活動法人こども∞感ばにー

## 1.年間の活動のまとめ

法人設立5周年を迎え、支援者や関係団体に向けて、これまでの5年間とこれからの5年間でテーマに『こどもみらいず』を発行し、ひとつの節目を迎えることができた。

各事業では、本会のミッションである地域とのつながりを深め、利用者も当事者となって一緒に場をつくることができた。

また、行政への働きかけにより2019年度の総合計画に子どもの居場所事業を予算化することができた。これは今後石巻市に子どもの居場所を増やしていくための大きな第一歩となった。

また、復興予算が2020年度で終了した後も、本会の活動を継続していくための中期計画を全スタッフで話し合い、2019年度から3年間のアクションプランをもとにチームごとに動き出す基盤ができた。

### 《重点目標》

#### ●プレーパークの認知度を高め必要性を伝える。

「プレーパーク」への理解が（もともと石巻にはない文化）希薄ということに対し、市内と近隣の市町にポスター掲示（200部）やチラシ配布（46000枚）し告知に力を入れた。遠方からも車で来所する親子や、学区内（渡波小学校）の学童の初来所も増えた。

保護者が同伴した際に、活動の主旨やプレーパークの役割について説明する機会が増え、地域理解が深まってきたと感じた。しかし、次年度もプレーパークの発信は継続していく必要がある。

#### ●地域住民も当事者となり、プレーパークの運営に関わる体制をつくる

黄金浜ちびっこあそび場（以下「あそび場」）で2012年に発足した地域住民の会“わらすこ会”は、利用する子どもの世代交代とともに保護者の交代があり活動の継続が課題となっていた。12月から3月にかけて話し合いを重ね、わらすこ会の活動をいったん休止し、現在利用する保護者と新たな体制づくりが始まった。今後は、あそび場の活動継続に向けて石巻市に住民の声を届けていくことになる。

#### ●石巻市内に子どもの居場所を増やすための取り組み

2017年6月に子ども支援団体3団体（うち1団体は本会）が発足した「石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会」（以下「石の会」）が、5月に市長及び福祉部子育て支援課に向けて「石巻市内に子どもの居場所を増やす必要性」について提言した結果、2019年度の予算化が決定した。1中学校区に1か所子どもの居場所を設置するという目標への大きな一歩となった。

#### ●資金調達計画(中期計画)をたて、実施体制をつくる

2020年度以降の組織運営は大きな課題である。これをスタッフと役員全員で取り組み、乗り越えるための体制づくりを行った。11月より全体会議を4回にわたり開き、チーム編成後はチームごとに動き始めている。

## ≪事業内容≫

### ①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

#### ◆プレーパーク事業

##### ○黄金浜ちびっこあそび場

石巻市内唯一のプレーパークであるここは、渡波地区の子どもにとってのあそび場や居場所、地域住民の居場所という機能だけでなく、「子どもにとって遊びの重要性を発信する場」や「地域コミュニティの構築のモデルとなる場」という機能も備えており、地域で子どもの成長を見守る場として活動を行っている。

【開催日時】 毎週土・日曜日10：00－16：00、隔週金曜日15：00-17：00

【開催回数】 122回

【利用者数】 子ども延べ2,592名/平均21人、大人延べ1,278名/平均11人

【取り組み内容】

a.環境整備 チビプレハブ(図書館)整備

b.イベント 9回

バザー(4月) /マグロ解体ショー(6月) /山形南高校夏祭り(7月) /子ども会立ち上げ夏祭り(8月) /黄金浜お泊り会(10月) /土祭り(12月) /クリスマス会(12月) /餅つき・節分(2月) /ペンキ祭り(3月)

c.地域連携

渡波小学校、渡波中学校、鹿妻小学校との子どもに関する情報交換会 /子ども会や自治会など地域連携に関する会議実施 /地域住民の会 わらすこ会定例会議 12回

【成果】

- ・黄金浜地区の子ども会復活（震災後活動が停止していた）のサポートにより、地域の保護者との関係性が深まり、子育て相談や見守りで来所する保護者が増えた。
- ・活動エリア主要3校（渡波小学校、鹿妻小学校、渡波中学校）、子ども会、自治会との連携により、プレーパークが地域資源としての認知度が高まった。

##### ○鹿妻プレーパーク“ひがこー”

【開催日時】 毎週水曜日 15：00－17：00

【開催回数】 49回

【利用者数】 子ども延べ1,171人/平均24人、大人延べ277人/平均6人

【取り組み内容】

a.イベント 一日あそび場（7月：ウォータースライダー、流しそうめん、12月：クリスマス会）

b.広報 開催日の告知先拡大1000枚/月(2地区で回覧、幼稚園や公営住宅へのポスティング) /鹿妻第二町内会に活動紹介・報告会実施 /地域住民LINEグループ作成

【成果】

- ・広報に力を入れたことにより活動が認知され、毎回約30名（約10名増加）が来所した。
- ・プレーパークの準備から片付けまでを行う当事者意識の高い住民(4名)が増え、地域とともに開催できた。

- ・自治会との繋がりが深まり、あそび場のサポートに入る区長の姿があった。

「震災で一度聞こえなくなった子どもの声が、プレーパークがある事で地域から子どもの声がまた聴けるようになったことが嬉しい」という声が上がった。

#### ○大森仮設団地

遊び道具約50種類を車に載せ、河北地区の大森仮設団地で定期的にあそび場を開催。2014年3月から始まったこのあそびの出前事業も、仮設の閉鎖に伴い8月で終了を迎えた。

【開催日時】第2・4日曜日 10:00-15:00 (8月にて終了)

【開催回数】10回(4月~8月末まで)

【利用者数】子ども延べ48人/平均5人、大人延べ20人/平均2人

【成果】

・活動終了までの5か月間の子どもの来所数は平均5名程度だったが、「最後の一人になっても最後まで活動を続ける」という本会の目標を達成した。保護者から「月2回のあそび場を子どもたちはいつも楽しみにしていました。開催日以外の日曜日も、朝になると『今日はけろちゃんの日?』と必ず聞いてくるんですよ。長い間ありがとうございました」というお礼の言葉をいただいた。

#### ◆フリースクール事業

##### ○フリースクール“ぼはっく”

自然体験やものづくりを通じて、主体的に活動に関わる力や人とのコミュニケーション力を高めることが優先という考えのもと、学校復帰だけでなく社会に出ていくためのサポートを目的に活動を行っている。

また、不登校の子どもをもつ保護者の面談により、家族と連携しながら個別の処遇方針を決めている。

【開催日時】毎週月・木曜日 10:00-15:00

【開催回数】98回

【利用者数】登録者数 9人 アウトリーチ1人 延べ206人 /平均2人

【取り組み内容】

日常の活動 海遊び、森散策、スポーツ、ものづくり、料理、読書、DVD鑑賞、学習など  
ぼはっく合宿 (3月/2泊3日/牡鹿半島)

【成果】

- ・不登校児童生徒の数が10名のうち、常時利用している4名の関係性は構築できた。自分たちでプログラムの企画や実施ができるようになり、主体性が芽生えてきた。
- ・常時来所する子どもが通う中学校が登校扱いとなった
- ・拠点の環境整備、体制が整った。

## ②子育てサポート事業

### ○未就学児あそび場"のびちび"

母親がゆったりのんびりした気持ちで子育てができる環境をつくることで、子どもものびのびと健康に育つという考えのもと環境づくりを行った。

【開催日時】 毎週火・木・金曜日 10:00-14:00

【開催回数】 135回

【利用者数】 子ども延べ1,385人/平均10人、大人延べ1,093名/平均8人

【成果】

- ・新規親子の来所者数が前年と比較し〇%増えた。
- ・「二人目の子どもが産みたくなった」「叱ることが減り、子育てが楽になった」「同じ悩みを持つお母さん同士が話すことで気持ちに余裕ができた」などの声が多数聴けた。

### ○子育て相談

子どもを遊ばせながら話せる「ながら相談」や、面談式の相談を受け入れている。特に「ながら相談」は、石巻市が設置する相談窓口は敷居が高く、また、移動に時間がかかるという母親にとっては気軽に相談できる話しやすい場となっている。

【相談日】 受け入れ随時

【相談件数】 126件

【成果】

- ・相談件数は前年度と比較し22%増えた。（前年度は103件）
- ・本会プレイワーカーへの相談以外にも相談員経験のある母親に相談する来所者もいて、相談事業の幅が広がった。

### ○子育てワークショップ

ワークショップ内容は母親のリクエストも取り入れながら、母親自身が楽しみリラックスできる時間を提供している。講師は地域住民への依頼や、シリーズ開催など多様性に富んでいる。

【開催日】 のびちび開催時

【開催数】 20回

【成果】

- ・地域住民が講師となることで、講師自身の生きがいや楽しみにつながった
- ・参加者同士に共通の話題ができるため、母親同士の関係が生まれ、開催日以外も一緒に遊んだりお出かけするなど別のネットワークができた。

### ③自然体験プログラム事業

○Ecoキャンプ“自然とともに”

親元を離れ、豊かな自然の中で過ごすキャンプは、自然の恵みや母親のありがたみを知る学びの場となる。薪でのご飯づくりや風呂焚きや電気ガス水道のないキャンプは、非日常の生活体験の場となり、子どもの心と身体を育てていく。

【開催回数】 1回(夏季) 5泊6日

【参加人数】 6名 【開催地】 宮城県気仙沼市

【協力団体】 N P O 法人浜わらす G F S

### ④社会体験プログラムに関する事業

活動なし

### ⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

#### ◆啓発事業

○講座・研修

- ・はぴはぴ講座「外遊びの大切さ」：3回(こどもセンターらいつ/石巻市)
- ・楽々コミュニケーション講座：1回4セッション(石巻市内)
- ・「プレイワーカーとは」(石巻専修大学の「支援クサークルひだまり」/石巻市)

○講演会

- ・「子どもにとって遊びとは」(東京目黒区)
- ・「被災地で見えている課題」(JCN/東京都)
- ・「キャリア教育事業：ミライブラリー」((一社)ISHINOMAKI2.0/石巻市)
- ・「被災地の子どもたちの今」(「3.11を想う会」/神奈川県座間市)
- ・「東日本大震災とわたし」(武庫川女子大学/兵庫県西宮市)：2回
- ・「ボランティアと地域住民でつくったあそび場」(石巻専修大学/石巻市)
- ・「准認定ファンドレイザー試験対策勉強会」  
(日本ファンドレイジング協会東北チャプター/福島県福島市)
- ・「子育てがしやすいまちづくりとは」(石巻2025会議/石巻市)

#### ◆情報発信事業

- ・会報誌“だんごむし”：4回発行 各800部
- ・プレーパーク映像「みんなおいで〜」(約2分30秒)、「こどもみらいず」(約13分)
- ・プレーパークポスター200枚制作、掲示
- ・プレーパークチラシ(ポスターと同デザイン)46000枚 配布

#### ◆人材育成事業

##### ○事業運営スキル向上のためのスタッフ研修

- ・ 児童虐待支援者向け講座：6回/講師：高橋和巳氏（東京）
- ・ みやぎNPO経営ゼミ：全12回（気仙沼、石巻、南三陸、大阪、兵庫）
- ・ SNSの活用と組織づくり：講師 久米信行氏（石巻市）
- ・ プレイワーク研修：講師 廣川和紀（2日間/石巻市）
- ・ プレーパーク現場研修：講師 関戸博樹（5日間/埼玉県朝霞市）
- ・ 「遊びとプレイワーカーの関係」：講師 関戸博樹（石巻市）
- ・ 子ども支援者向けの研修 8回（各所）

##### ○組織運営のためのスタッフ研修

- ・ 資金調達・組織基盤強化のための研修 外部研修11回 内部研修3回

##### ○外部人材育成

- ・ プレイワーカー講座 2回(1回2日間)：講師 廣川和紀（石巻市） 25名参加
- ・ 山形南高校生/夏祭り：25名
- ・ ボランティア受け入れ：25名

#### ⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業

##### ○主たる活動地域内

- ・ 渡波地区世代間交流事業（渡波地区民生委員主催）
- ・ 渡波小学校評議員 定例会議 3回
- ・ 渡波中学校区協働教育協議会会議 1回
- ・ 鹿妻小学校クラブ活動サポート「農村クラブ」：6回/鹿妻

##### ○石巻市内

- ・ NPO法人こどもにやさしいまちづくり理事 会議10回程度
- ・ らいつコンソーシアム協議委員会議 4回
- ・ 石巻市子ども・子育て未来プラン委員会 4回

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者	受益者	事業費 (円)
①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業	プレーパーク事業 ・黄金浜ちびっこあそび場 ・鹿妻プレーパークひがこー ・大森仮設団地	土・日曜/第2・4金曜 水曜 日曜（月2回）	渡波 鹿妻 大森	田中・千葉 千葉・平井 田中	幼児 ～高校生 延べ 3,358人 地域住民	13,303,127
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく ・県北ネットワーク(仮名)準備会	月・木曜 1月・2月	鹿妻 市外	田中・千葉 菅野 田中・千葉	延べ 1,296人 (263回)	
②子育てサポート事業	未就学児あそび場 “のびちび”	毎週火・木・金曜日	渡波・鹿妻・石巻 市内	大森・平井 田畑・田中	乳幼児 ～大人 延べ 2,243人 (143回)	3,857,078
	子育て相談	火・木～日			延126人	
	子育てワークショップ	20回程度	渡波	田中・大森	-	
③自然体験プログラム事業	Ecoキャンプ“自然とともに”	8/16～8/22	気仙沼	田中・大森 千葉・平井	6名	312,674
④社会体験プログラム事業	※活動なし	-	-	-	-	-
⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・講座/研修 ・講演会 情報発信事業 人材育成事業 ・事業運営スキル向上のためのスタッフ研修 ・組織運営のためのスタッフ研修 ・外部人材育成	4/1～3/31	宮城県 及び 他県	田中・大森 千葉・平井 田畑・榎谷	-	4,109,793
⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内 渡波小学校評議委員など ・石巻市内 らいつコンソーシアム協議委員会 など	4/1～3/31 年20回程度	石巻 市内	田中	-	728,398

## 3 事業実施体制

### (1) 会議に関する事項

理事会の開催：3回

### (2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り。

代表理事：田中雅子

常勤スタッフ：榎谷和子（事務局長、理事）、大森恵利子（未就学児担当、相談員）、  
千葉拓己（プレーパーク・フリースクール担当）、菅野樹璃（フリースクール担当）

非常勤スタッフ：平井希美枝（未就学児・プレーパーク・広報担当）

アルバイト：阿部良子（事務アルバイト）、田畑つばさ（未就学児担当）

### （3）会員

①正会員 15名 前年比2名

②賛助会員 38名（新規8名）

③子ども会員 0名

### （4）地域社会や他団体との連携について

石巻市福祉部子育て支援課、石巻市都市計画課、宮城県東部児童相談所、虐待防止センター、  
石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、  
公益社団法人みらいサポート石巻、NPO法人ベビースマイル石巻、NPO法人TEDIC、  
NPO法人にじいろクレヨン、NPO法人こどもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレーワーカーズ  
など連携団体は多数